（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス猿のたまごリバーサイド			
○保護者評価実施期間	令和７年　６月　　１０日	～	令和７年　６月　３０日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	２5名	（回答者数）	２２名
○従業者評価実施期間	令和７年　６月　　２２日	～	令和７年　６月　３０日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	７名	（回答者数）	７名
○事業者向け自己評価表作成日	令和７年　７月　　4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の状態を充分に理解し、児童と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで個別支援計画が作成されている。	家庭や学校での様子や困りごとを聞き取り、多角的に見たうえ で分析し、スタッフ間で課題や支援内容について検討を行って います。信頼関係の構築を重視し、保護者がどのスタッフにも話しやすい空気を大切にしています。	スタッフの研修等の充実を図り、質の向上を目指すことで個々の児童の状態をさらに理解し、より良い支援に繋げられるよう努めていきます。
2	面談や家庭訪問、電話やLINE等で、困りごと等に対する速やかな対応に努めている。	事業所内での様子を連絡帳等でお伝えすると共に、ご家庭や関係機関と情報共有を心掛け、保護者様との関係構築に努めています。また、相談に対しての回答について、適切なアドバイスができるようスタッフ間で話し合い検討を行い、迅速な対応を心掛けています。	的確な助言が出来るよう、スタッフ間の質の向上を図るための研修を行っていきます。
3	利用児童の状態の把握に努め、特性に応じた専門性のある支援が行える。	児童の状況や様子を十分に観察し、理解に努めています。 学校や他事業所での様子の聞き取り等も行い、それを踏まえ支援内容を職員間で話し合い、専門的支援を要望される児童おいてはマンツーマンでの時間を設け、計画的支援を行なっています。	スタッフの支援の専門性向上を図るため、内部研修やリモート、また外部研修の受講の充実を計画的に行い、スタッフ教育に力を入れてまいります。（特に強度行動障害研修等）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対しての研修会や、情報提供の機会が少ない。	初年度ということもあり、情報収集の方法が曖昧で、家族に対しても情報提供の周知が出来ていなかった。	保護者に向けた研修会のチラシを配布したり、事業所入り口に掲示するなど、情報提供方法を検討する。 また、外部から講師を招くなど研修の実施について検討する。
2	地域での他児との活動や交流の機会が少ない。	利用児童の年齢や学校が異なり、平日以外は保護者の就労の都合や、開催時に出勤できるスタッフも少ないため、対応が難しい。	区や学校と連携を図り、地域のイベント等を確認し、積極的に参加できるよう、ご家庭への案内と職員に配置について検討する。
3	非常時の各種マニュアル、それに伴う訓練等の実施の情報の周知が出来ていない。	事業所内でのマニュアルの周知徹底が行われておらず、保護者にもマニュアルについての意識が薄い印象だった。	ご家庭や関係事業所（移動支援）等に周知できるよう、掲示や連絡ツールを活用し、情報の周知を徹底していく。